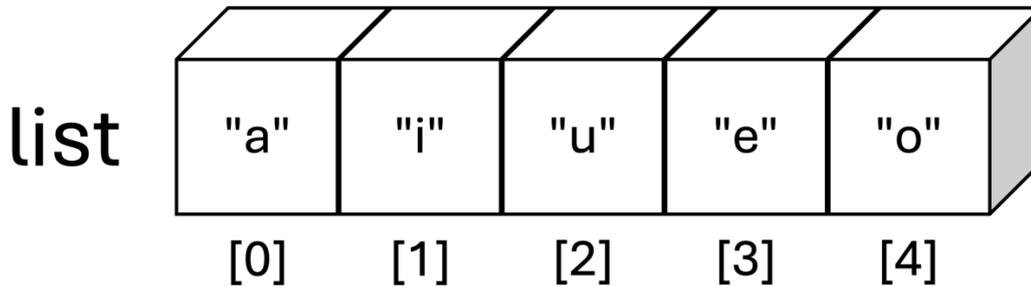


問題集（アシアルテキスト対応）Ⅱ 変数とリスト

リストは、1つの変数に、複数の値を入れておくことができる仕組みです。



```
list = ["a", "i", "u", "e", "o"]
```

のように、四角かっこ `[]` を使います。上の1行は、変数 `list` に、5つの文字1つ1つを要素にしたリストを代入しています。

リストの要素に値を代入したり、要素から値を取り出すときには、また四角カッコを使います。

```
print(list[2])
```

とすると、`u` が表示されます。

Python 言語では、リストの先頭の要素は0番目です。最後の要素は、「要素数-1」です（※上の例では、要素数が5なので、最後の要素は $(5-1)$ で、4番目になります。

リストの最後に要素を追加したり、途中に挿入したり、要素を削除するには、専用の関数を用います。

※以上は、動作を確認するときに便利な機能の確認です。以下の問題で、必ず使うわけではありません。

以下の問題を解く際は、『Python で学ぶプログラミング入門』第3章 リスト がヒントになります。

1. 変数の値を表示する

以下のような変数 a, i, u, e, o があります。

画面に 3 と表示されるように、関数 print() の小カッコの中に変数を入れてください。

```
a = 0  
i = 1  
u = 2  
e = 3  
o = 4
```

2. リストの値を表示する

以下のようなリスト siin (子音) があります。

画面に r と表示されるように、関数 print() の小カッコの中に変数を入れてください。

```
siin = ["k", "s", "t", "n", "h", "m", "y", "r", "w", "g", "z", "d", "j", "b", "p"]
```

3. 配列の値を表示する

関数 print() を使うとき、次のように複数の値を , (カンマ) で区切って並べることができます。

```
print("例:", a, i)      # 例: 0 1 と表示される
```

リスト siin と、リスト boin (母音)、変数 a, i, u, e, o を用いて、関数 print() を使い、自分の名前か、または有名なスポーツ選手などの名前 (例: 「池江璃花子 (いけえりかこ。Ikee Rikako)」、「羽生結弦(はにゅうゆづる。Hanyu Yuduru)」) をローマ字で表示してください。